

令和3年度 第2回 大阪府立東住吉総合高等学校 学校運営協議会 議事録

日時：令和3年9月28日（火）14：00～16：00

場所：大阪府立東住吉総合高等学校 TRYルーム

1. 開会
2. 学校長挨拶
3. 出席委員紹介
4. 協議

(1)保護者からの意見書の提出状況：特になし

(2)授業改善について

授業改善に向けてのこれまでの取組について：教頭から説明

- ・平成26年度から平成29年度にかけて、大阪府教育センター主催の『パッケージ研修』を実施。前年よりステップアップした研修により、多くの教員にとっても、授業改善のきっかけとなった。
- ・平成30年度は『パッケージ研修』は行っていないが若手教員を中心とした自主的な『授業改善委員会』を立ち上げ、授業改善について検討を重ねた。
- ・学校教育自己診断結果の肯定感について、平成29年度から令和2年度まで数値が上昇傾向であることを確認。
- ・令和元年度は「確かな学力の育成」と「主体的・対話的で深い学び」の実現のために「魅力ある授業づくり」をめざした「パッケージ研修支援Ⅰ」を実施。各教員が持っている授業に対する課題や困っていることなどについて意見交換をし、各教科での取り組みについて協議を行った。
- ・令和2年度は学力向上プロジェクトチーム（GPT）の教員を中心に授業改善、学力向上をめざし、「授業研究プロジェクトチーム」「ICT機器活用研究プロジェクトチーム」「放課後学習プロジェクトチーム」の3つのチームに分かれて校内研修の企画と運営について協議を行った。
- ・今年度は、学力向上プロジェクトチームのメンバーを中心に、授業力改善、学力向上をめざし、教職員のニーズに応じた校内研修を企画・運営し、教職員の授業改善を図っている。また、観点別学習状況評価をとり入れた授業づくりや評価方法の実践・検証を行っている。
- ・また、教頭、首席、各年次の代表者を中心に、オンライン学習に向けた校内のあらゆる準備、取り組みを行っている。生徒一人一台端末の円滑な利活用に向けて準備を行っている。

5. 授業見学

- | | | | |
|-------|--------|-----------|-------|
| ・化学基礎 | 2－5 | 2－5教室 | （全系列） |
| ・美術Ⅰ | 1－3, 4 | 美術室 | （全系列） |
| ・体育 | 3－5, 6 | 体育館、グラウンド | （全系列） |

《授業見学意見交換》

☆各委員からの感想・意見

- ・午後の眠たい時間帯にもかかわらず、しっかり先生の方を向いて授業を受けていた。
- ・体育の授業中のマスク着用について、着用するような指導があると思うが、つけているとしんどくなるのでマスクなしでバドミントンをしていたのは賢明だと思う。
- ・新しさを感じる授業ばかりだった。生徒はまじめにやっていた。
- ・楽しそうにやっていた。見ている側も楽しくなった。
- ・化学の授業のモニターの文字が少し小さく見えづらいと感じた。
生徒に授業を受けさせられている感がない。先生の声が聞きやすい。教員側の訓練や努力を感じる。
- ・美術はのびのびとしている。自由度の高い内容でよかった。
カッターで指を切る生徒はいないか。
- ・体育は体力だけでなく、チーム力の育成もしているように思う。
- ・体育を担当された先生は今年度赴任してきたと聞いている。本校の授業改善の取り組みについてどのように感じるか。

☆授業実践者からの意見

- ・モニターの文字は基本的にはプリントと同じである。画面上の配置は少し変えている。(化学)
- ・カッターで指を切らないように立ち歩きも含め安全面の指導を徹底している。カッター使用経験のない生徒もいる。はさみでもできるが、あえてカッターを使用させている。(美術)
- ・本校の生徒は元気な生徒が多い。日頃服装等の指導をすることはあっても、授業となるとしっかり取り組める。
授業改善については、一人一台端末が配布されるので、言葉での説明が難しい内容については、動画の活用などを考えていきたい。(体育)

6. 学校長より

- ・いろいろな課題があるが、今年度はやはり一人一台端末の配布が最大の課題である。
授業でどのような活用ができるかについて検討をしていく。
- ・本校は様々な特色のある授業を行っているので、来年度は試験前ではない時期に開催したい。
- ・思考・判断・表現力をどうつけさせるか、知識技能をどのように活用していくか、についての検討が今後の課題となる。

7. 第3回の協議会開催日日程について